



県内主要産業の動向

2018年9・10月

◎順調 ○まずまず ◐やや低調 ●不調

業種	景況			コメント
	18年8月	18年9月	先行き	
金属洋食器	●	●	→	受注は依然として低調。ホテルや飲食店など業務用の動きが鈍い。足下では、大規模な展示・商談会が開催され、県内企業の他、県外・海外からもバイヤーが来場。一部では引き合いもあった模様。工場見学ができる「工場の祭典」も同時期に開催され、産地PRの相乗効果もみられた。
金属 ハウスウェア	●	●	→	受注は総じて低調。一部の業務用厨房機器や企業のノベルティ向け商品などは堅調だが、全体的には盛り上がり欠ける。海外では日本製の包丁や鍋などの需要が高く、展示・商談会でも引き合いがみられた模様。原材料費の値上がりが収益圧迫の懸念材料となっている。
作業工具	◐	◐	→	国内販売は、秋の需要期に入り生産、販売ともに例年通り増加した。しかし足下では、堅調を維持していた建築関連工具類の一部でやや失速感が出ている。輸出は、東南アジア向けを中心に一服感。米中摩擦や中国経済の減速について、今後の影響を懸念する声も聞かれた。
電子部品 ・デバイス	○	○	→	受注は総じて好調。半導体関連では、半導体素材の受注が引き続き堅調。電子部品関連では、半導体製造装置向けは、増勢基調が一服。一方、携帯端末向けは、これまでの弱含み状態から持ち直しつつある。米中摩擦を受けて、先行きの受注見通しを慎重にみる向きが増えている。
鋳物	○	○	→	受注は総じて堅調を維持。工作機械関連、半導体関連は好調。自動車関連などでは、中国経済の減速、米中摩擦により受注の過熱感が収まり、一部では生産の延期やキャンセルもみられる。相応の受注残を保ちながらも、先行きについては慎重にみる向きも聞かれた。
金型	○	○	→	受注は総じて堅調。自動車関連は車体向けで米中摩擦の影響がみられるが、車載機向けは引き続き好調。ビル向け建築金物や最盛期の暖房機は堅調を維持。そうした中、人手不足から省力化投資を検討しながらも、景気の減速懸念から見送るとの慎重な声も聞かれた。
一般機械	○	○	→	国内は自動車、航空機を中心に受注好調は変わらず。海外は、中国の過熱感が収まっており受注様子見も一部にみられるが、受注は底堅い水準を維持。やや不透明さを増してきている米中摩擦や米・加・メキシコが合意した新協定の自動車への影響について注視が必要。



業種	景況			コメント
	18年8月	18年9月	先行き	
絹織物	●	●	→	十日町産地では、受注は総じて低調。燃料である重油価格は高騰しているが、製品への価格転嫁は進まず、収益圧迫の懸念。そうした中、東京五輪に向けて出場国や地域をイメージした着物制作を実施して産地PRを図る動きもある。五泉産地は、主力の白生地生産量が前年比ほぼ横ばいで、厳しい状況が続く。
合繊織物	●	●	→	春物受注、生産期入り。例年2月までが最盛期だが、店頭低迷が響き受注は勢いを欠く。生産面では、折からの原油高により合繊素材の高騰や品薄が続く、対応に苦慮する先も。そうした中、栃尾産地では、11月開催の国内最大の展示会に向け、産地独自の商品開発に注力している。
ニット	●	●	→	秋冬物生産期。台風などの自然災害が響き、9月の店頭は振るわず受注は前年割れ。9月後半からは、気温の低下などにより一部で持ち直しがみられたものの、多品種小ロットの受注で対応に苦慮した。足下では、ニットの原材料であるウール価格が上昇傾向にあり、収益面への影響が懸念されている。
木工家具	●	●	→	業務用は、店舗関連に一時復調の兆しもみられたが、業者ごとにもバラつきがあり散発的な受注にとどまった。家庭用は、売上確保に依然苦慮。組合は例年の地元大型展示会を建具業者と共同で開催するが、大きな成果は得られず。商工団体は地元ブランド品の販売イベントで製品PRを図る。
清酒	●	●	→	9月の出荷量は、県内・県外向けとも前年を下回った。酒類別では、純米酒、本醸造酒、普通酒が不振。販路別では、飲食店向けで落ち込みが続いている。足下では、気温の低下とともに持ち直しの動きもみられており、各酒蔵とも季節商品の投入などで需要喚起に努めている。
米菓	◐	◐	→	9月は残暑が続く、定番品の売れ行きが鈍かったことから、売上高は前年をやや下回った。足下では、気温の低下に伴い、定番品の売れ行きに戻りがみられる他、秋冬の限定商品も好調に推移。原油高による包装フィルムの価格上昇は、業績下押しの懸念材料となっている。
建設	◐	◐	→	公共工事は、今年度予算の発注が進み安定基調にあるが、年度後半の工事不足を懸念する見方もでている。民間工事は、製造業・運輸業・医療福祉などで底堅い動き。住宅建設は、消費税率引き上げが予定されているものの、持家の着工は盛り上がり欠ける状況が続いている。
大型小売店	◐	◐	→	9月売上は前年を上回った。気温の落ち着きで来店客が堅調に推移、野菜価格の高留まりも押し上げた。コスメ、ブティック及び食品は好調で催事も動きがあるが、衣料品は秋物が弱い。足下では、食品は秋鮭、サンマ等の水揚げが多く順調だが、衣料品は引き続き苦戦。